



【野外炊事】

「自主活動」または「有料講師」

内容

グループにわかれ、火をおこし、自分たちの手で食事を作ります。火のぬくもりとともに仲間との親睦を深めることができます。

活動に必要なもの

- ・食堂事前発注 : カレーライス (8人セット) (4人セット) ※ご飯の炊き上げの有無
BBQ (8人セット) (4人セット) ピザ・ポトフ (8人セット) (4人セット)
パエリア (8人セット) (4人セット)
※8人セットまたは4人セットのみの発注です。
- ・利用団体購入 : 薪1束750円 (1かまど1束程度)
- ・団体(個人)で用意する物: ①軍手 ②ハンドソープ ③食器用布きん ④テーブル用布きん
⑤スポンジ ⑥食器用洗剤 ⑦鍋のすずをおとすもの (布たわし推奨)
⑧懐中電灯 (夕食時) ⑨救急用品 ⑩新聞紙 ⑪ライター等

★着火に必要なものについては、団体で準備をしてください。貸出はしていません。

活動前の準備

【入所前】

★活動される方全員で、HP掲載のセーフティ動画を必ず視聴する。

- ・講師を依頼した場合は、事前連絡とプログラム開始前に講師と打ち合わせを行う。

【実施前】

- ・「食器・食材庫の鍵」を事務室で受け取る。(実施60分~30分前)
- ・食堂売店横の冷蔵庫に食材を取りに行く。
(※数量の間違いや痛み等を確認する。何かありましたらその場で食堂売店にお伝えください。)
- ・食堂売店で「ビニール袋4枚 (①生ごみ・②燃えるごみ・③ビニール・④残炭)」「検体袋」「野外備品使用報告書」を受け取る。
- ・服装を確認する。(①軍手 ②帽子 ③タオル ④雨具 ⑤運動靴 ⑥肌が露出しない服装)

活動の流れ

- ①引率者から、活動上の留意点等の説明をする。(セーフティ動画参照)
- ②引率者の合図で、活動を開始する。
※食器等は、はじめに全て洗い、肉類は、使用する直前まで冷蔵庫に入れておいてください。

【活動中】

- ①やけどや切り傷に注意して活動する。
★かまど内の薪は、薪の形がなくなるまで燃やし尽くしてください。

【片付け】

- ①使用した場所、道具を元あったように片づける。(※片付け方については、下記「留意点」参照)
- ②鍋(鉄板)以外の洗い終わった食器は、団体指導者のチェックを受け、アルコール消毒後、元の位置に返却してください。
- ③鍋(鉄板)点検の10分前に点検の連絡を事務室にする。(※内線電話(センター棟内))
- ④片付けた灰は、灰置き場の「空のドラム缶」に入れ、ふたを閉める。
(★水は使わず、十能、ほうき、バケツを使用して入れてください。)
- ⑤「もう一方のドラム缶」に入っている灰を袋に入れる。

【終了後】

- ①ゴミ、ビニール袋に詰めた灰を、「ごみ・灰捨て場」に運ぶ。(※マップ参照)
- ②「食器・食材庫の鍵」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。
- ③「検体」「野外備品使用報告書」を食堂売店に提出する。

留意点

- ・ゴミは確実に分別をし、捨ててください。
(※①「生ごみ」②「燃えるごみ」③「ビニール」他「ペットボトル」「ビン」「カン」「段ボール」)
- ・持ち込みの食器類(簡易食器・割りばし等)は、持ち帰っていただきます。

【その他】

- ・使用した薪数の確認は、正確に行い、「野外備品使用報告書」に記入してください。
- ・安全上、職員が中止の判断をすることがあります。

★R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを活動される方全員で必ずご確認いただき、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。また、交流の家職員からの説明(セーフティトーク)についても原則行いませんので、HP掲載のセーフティ動画を視聴の上、実施をしてください。